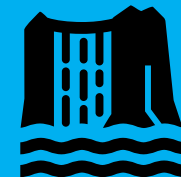


J3-6の考えるSDGs



～14&15～



アイコンについて



持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用するというテーマのもと、10個のターゲットから構成されている

→海の豊かさを守ることが、持続可能な地球環境保護や地域経済に大きな影響をもたらす

【主な目標】

○ 2020年までにやること

- 海の生物に関する重大な悪影響を回避するべく、持続的な管理と保護を行うことで生態系を回復させる
- 水産資源をできるだけ短い期間で、生態系を保ち生きていくのに必要な生物の多さまで回復させるために、持続生産量のレベルまで回復させるために、漁獲を規制し、過剰漁業や違法漁業などの破壊的な漁業慣行を終了させる

○ 2025年までにやること

- 海洋堆積物や富栄養化を含む、陸上活動による汚染などのあらゆる種類の海洋汚染を防ぎ、削減する

①船舶からの油の流出による汚染

2019年の海洋汚染データによると海が汚染される多くは人間の取り扱い不注意による油の流出が原因であると言われている。

海上保安庁によると漁業関係者に対して講習会・注意喚起を行うことで海への油の流出を防止している。



②工業排水による汚染

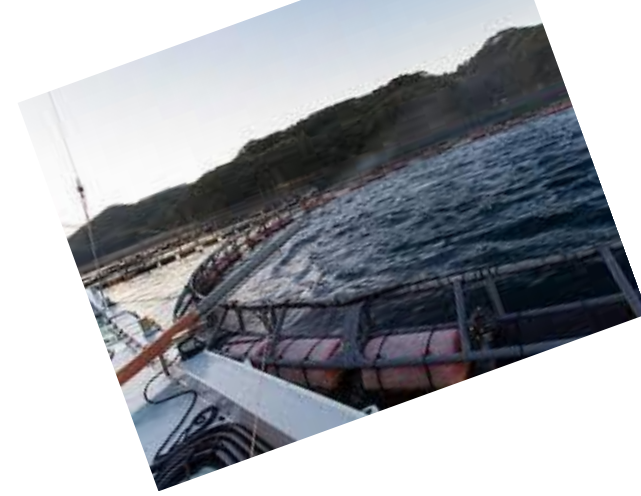
工場から出る排水や廃棄物により海が汚染され、廃棄物に含まれるメチル水銀を魚が飲み込んでその魚を食べた人間がそのことが原因で水俣病になってしまう恐れがある。



③生活排水による汚染

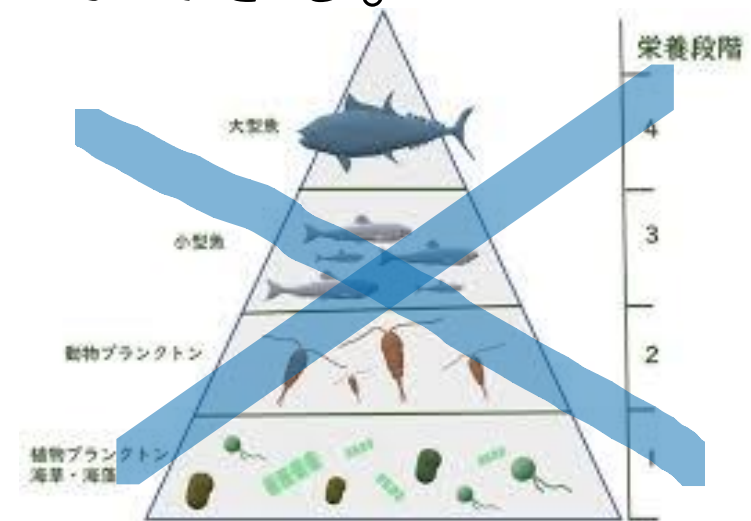
台所、トイレなど日常生活から出る有機物により海が汚染される。またスクラム剤などに含まれているマイクロプラスチックは海洋ごみが増える原因にもなっている。洗剤を使うのではなく石鹼など分解されやすいものを使うなどの工夫により生活排水を減らすことができる。





④ 養殖による生態系破壊

日本では新鮮で安定に魚が取れることから養殖業が年々盛んになっている。しかし養殖魚には天然魚が利用されていることや養殖魚の餌となるのは天然魚なため養殖魚を育てるために天然魚の生態系を崩すことになってしまう。養殖魚を卵から育てることができれば天然魚の生態系への影響をなくすることができる。



埋立地について



- ・「浅瀬などに土砂を入れて引き延ばして作るタイプ」「海などに土砂を入れて新しく島を作るタイプ」「湿地帯や沼、池などに土砂を流し込んで埋めるタイプ」がある

【メリット】

- ・都市を再開発しているため、街並みがとても綺麗
- ・住む場所が増える

【デメリット】

- ・液状化する可能性が非常に高く、リスクがある
- ・地震などの揺れに弱く、耐震性のある建物が必要になる



海底トンネルについて

一陸と陸をつなぐ海の底をくぐるように作られたトンネル

【メリット】

- ・ 船で海を渡るよりも安全で確実

【デメリット】

- ・ 製作に膨大な費用と時間がかかる
- ・ 維持にも費用が掛かる



サンゴの白化問題とはどうして起きるのか

- サンゴの白化は、環境ストレスにより褐虫藻の光合成系が損傷され、サンゴが褐虫藻を放出することにより起こる。この時、サンゴの白い骨格が透けて見え、白くなるため白化と呼ばれる。環境が回復すれば、褐虫藻を再び獲得してサンゴは健全な状態に戻るが、環境が回復せず、白化が長く続くとサンゴは死んでしまう。



サンゴの白化は止められないのか？

白化を食い止めるためには、サンゴ自身の適応と、人間活動の両方が鍵となる。

サンゴの中にも種によって白化しやすいものとしにくいものがあったり、また、同じ種の中でも白化しやすいものとしにくいものがあったりする。こうした環境ストレスに対する感受性の差は、サンゴに共生している褐虫藻のタイプの違いによるものであり、サンゴは白化することによって、温度耐性の弱い褐虫藻を放出する一方で、温度耐性の強い褐虫藻を獲得し、白化前より高水温ストレスに強くなるという仮説が提唱されている。

海のゴミ問題

●産業廃棄物

工場などで何かを作る時に出る鉄などのゴミ。



●家庭ゴミ

生活の中でいらなくなりまだ使えても捨てられてしまったゴミ。

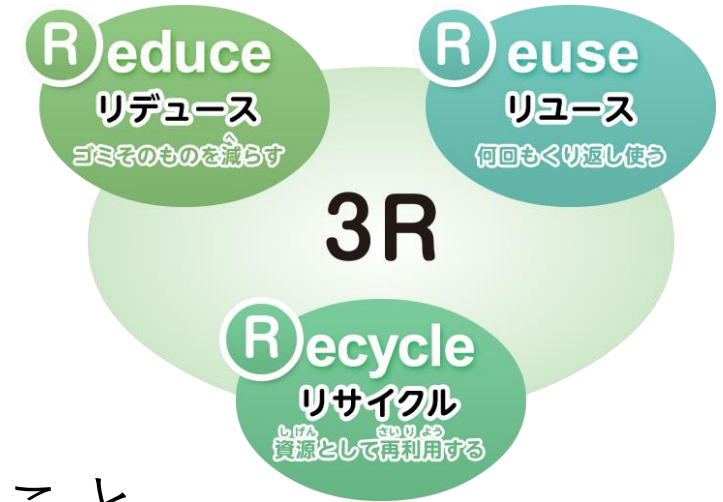


●海洋ゴミ

海洋プラスチックが主な問題の原因で、一番問題になってます。



3Rについて



●リデュースReduce

使用済みになった物が無駄にならないように作ること

●リユースReuse

使用済みになった物でも、再利用して使い無駄をなくすこと。

●リサイクルRecycle

破棄されたものを再生資源として再利用すること。

SDGs15

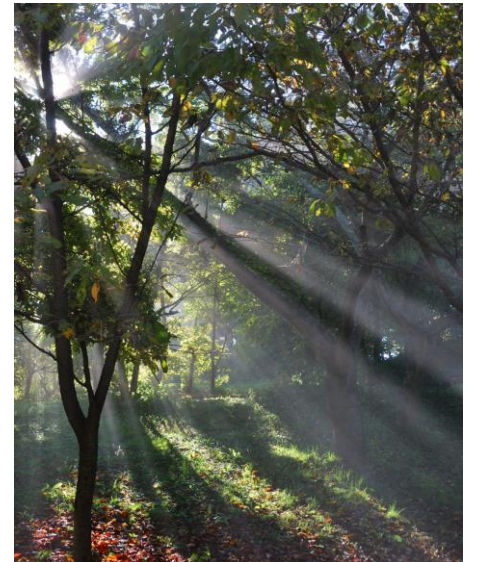
「陸の豊かさも守ろう」



森林の管理や砂漠化への対処、また土地の劣化を食い止めて改善させるとともに、生物多様性の損失に歯止めをかけるのがSDGsの目標15である。

地球上に住む約16億人の人が森林に生計を依存している。

例えば…[私たちが飲む水](#)、さらに吸う[空気](#)、口にする[食料](#)、[燃料](#)、[医療品](#)など。



しかし、たくさんの問題点がある。

- 世界の貧困層のほぼ75%は食料不足や水不足など、直接的な影響を受けている
- 175万種類の生き物のうちおよそ2万6000種類もの野生生物が絶滅の危機にある
- 干ばつや砂漠化も年々深刻化している など

そのために、

- 陸上生態系の回復および持続可能な利用の推進
- 森林の持続可能な管理
- 砂漠化への対処
- 土地劣化の阻止および回復
- 生物多様性損失の阻止

を目標に掲げ、12項目のターゲットを用意して、取り組みを行っている



動物にまつわる問題



地球温暖化が動物に与える影響

①気候変動

地球温暖化によって引き起こされ、温度上昇だけではなく、氷河、洪水、海面上昇がある

②植物の開花時期

気温が年々上昇するため、植物の開花時期が早まっている。それにより鳥の繁殖時期も年々早くなっている

影響を受けている動物

・ライチョウ

生息地→北アルプスや御嶽山、南アルプス

絶滅しそうな理由→地球温暖化により、キツネなども高山に住むようになったから

・ワオキツネザル

生息地→マダガスカル

絶滅しそうな理由→熱帯雨林の破壊や農業による森林開発

・アメリカマナティー

生息地→アメリカ ヴァージニア州北部からブラジル中部

絶滅しそうな理由→ボートや漁船のスクリューに接触する事故や密猟

・ジャイアントパンダ

生息地→中国

絶滅しそうな理由→竹林の環境変化、生息環境の森の森林伐採や狩猟





・**ジュゴン**

生息地→インド洋、西太平洋、紅海
絶滅しそうな理由→遠方密猟や石油流出などの環境破壊



・**マレーバク**

生息地→ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島
絶滅しそうな理由→生息地の破壊



・**アジアゾウ**

生息地→アジアの国々。熱帯や亜熱帯の近くに住んでいる
絶滅しそうな理由→自然環境の消失、象牙を狙った密猟



・**ベンガルトラ**

生息地→インド、バングラデシュ、ネパール、ブータン、ミャンマー西部
絶滅しそうな理由→密猟の横行、住宅地の拡大



・**ホッキョクグマ**

生息地→北アメリカ北部・ユーラシア大陸北部・グリーンアイランド南端・アイスランド南部
絶滅しそうな理由→地球温暖化や北極圏の環境悪化によって海氷が解けている



森林伐採をする理由

熱帯雨林の農用地転換や焼き畑農業、森林火災(落雷・干ばつ・猛暑などが原因)

日本の対応

JICAの能力開発プロジェクト
ボルネオ保全トラストジャパンによる募金活動

問題点

生態系破壊、洪水、土砂崩れなど

日本の森林

明治時代に産業が盛んになったことで山が開かれ、住処を失ったニホンオオカミが絶滅。また自然に生える天然林と人の手で植えられる人工林があり、天然林が6割を占めている。



スギ花粉とは

スギが大量に植林・放置され、花粉に含まれるアレルギーが一定量を超えてしまったもの。

問題点

花粉症(くしゃみ、目のかゆみ、鼻水)を引き起こす。国民の4分の1が花粉症！

改善点

花粉の少ない小花粉スギや無花粉スギを植える



山火事の原因

主な原因はたばこの不始末など
の人為的要因で、乾燥により枯
葉が摩擦して起こる自然発火も
原因の一つとなっている。

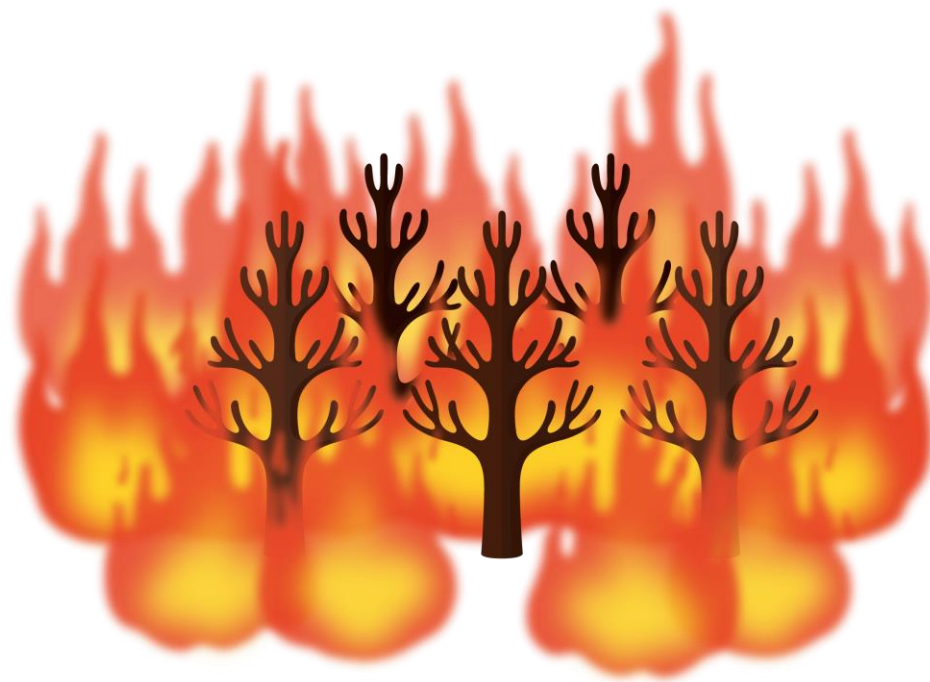
対策

国の対策 森林ハザードマップ
の作成、森林火災被害現況把握
システム

私たちができること 火の後始
末をしっかりとる

問題点

森林消失(地球温暖化の促進につ
ながる)や生き物(オーストラリア
のコアラなど)の住処の減少



環境問題



大気汚染

大気汚染とは、大気中の微粒子や有害気体が増加して、人や環境に悪影響をもたらすこと。

大気汚染が排出される原因

- ・人流、物流、自動車によって排出される
- ・工場や火力発電所などが生産活動が行われるとき

環境へ影響の主な原因

- ・酸性雨
- ・PM2.5
- ・光化学スモッグ
- ・黄砂

大気汚染対策

- ・大気汚染防止条例
大気汚染の種類ごと、排出する施設の種類ごと、施設の規模ごとに規制の上限を決めている



地球温暖化

地球の温度が上昇すると

森林伐採、森林火災、気候変動、激しい干ばつが起きて森林破壊が起こる。

氷が解けて陸が少なくなる

→森林に住んでいた動物達の居住居
がなくなる

気候が変わる

→温度が上がることによって雲のでき方や風の吹き方が
変わってしまう



土壌劣化

なんらかの原因で土壌が劣化していき生態系の機能や生産性が低下していくこと。

土壌劣化の被害

1 森林

森林伐採、森林火災、酸性雨による松枯れ、住居を無くす動植物

2 農地 牧草地

砂漠化、過密放牧、農薬の多使用



土壌劣化の対策

森林の整備、自然エネルギーの推進、物を開発する際は自然に配慮したものにする

